



志木中だより

9月号 令和3年8月30日

【学校教育目標】

- ・考える人
- ・思いやりのある人
- ・たくましい人

志木市立志木中学校 志木市柏町3丁目2番2号
048(471)0143 FAX 048(474)6592
URL <http://www.shikichu.ed.jp/>

校長 小林良昭

『 学びへの一歩・・・ 』

未だ未だ残暑が厳しい日が続いていますが、それぞれ充実した夏休みを過ごすことが出来たでしょうか？依然としてコロナウイルス感染症の終息が見えず、再び緊急事態宣言が発令され9月12日まで期間延長となる極めて深刻な状況下になっています。本校として、この状況下を十分に踏まえ、引き続き感染予防措置を十二分に図りながら第二学期への教育活動を進めて参りますので、地域、保護者の皆さまには、引き続きご理解を賜りますようお願い申し上げます。本来であれば、体育祭（SSC）や合唱祭等は生徒たちのみならず、保護者の皆様をはじめ多くの人たちに感動を与え、そして思い出に残る行事となる訳ですが、行事を心待ちとしていた生徒たちのことを思うと例年通りの内容で行事が実施出来ないことは大変心苦しい限りです。しかしながら、行事代替等を可能な限り検討し工夫した上で実施できるよう進めて参りますので、引き続きご理解のほど、よろしくお願いいたします。

最後になりますが、今学期、生徒たちは、学習でも力が入る季節にもなってきます。様々な苦難を乗り越えつつ、これまで以上に大きく成長し、活躍してくれることを願って、教職員一同熱い気持ちを持って指導にあたっていきたいと思っております。

1 学びの秋に（学びの上塗り・・・）

まもなく夏の季節が終わりを告げ、これから少しずつ秋らしく過ごし安くなっていく分、この二学期を「**実り多き、学びの秋**」にしてもらいたいと思います。確かな学力を身に付けるには、繰り返しの学習が必要であるとよく言われます。私も学生の頃、何冊もの問題集に手を出すより、1冊の問題集を繰り返しやった方が力になると指導されたのを思い出します。何度も学びの上塗りをすることが大事だということです。さて、その上塗りをする時間をどうつくっているのでしょうか。おもしろい資料があったので紹介させていただきます。少し古い資料ですが、2003年、都内で義務教育初の民間人校長（杉並区立和田中学校）に就任した藤原先生からの「保護者への五つのお願い」からの抜粋です。

（中略） テレビをつけっぱなしで見せている家庭の子の学力は保証しません。テレビは1日1時間強まで、番組を選んで見せてください。これで1年間のテレビの視聴時間が約400時間となり、英国数理社5教科の年間総時間数と並びます。2時間以上つけっぱなしで見せていると年間800時間以上となり、考える力に著しいダメージを与えます。テレビを1時間に抑え、その代わり自宅学習を1時間15分以上させれば、自宅での勉強が400時間上積み増され、確実に学習したことが定着するでしょう。

随分、昔のことですので、今の状況とは若干異なる要素も多分にあります。子供たちはテレビに割く時間よりもスマートフォンやゲームに割く時間が結構多いのではないのでしょうか。また、個人差・学年差があり一日に必要な学習時間量は一概に決めることはできません。いずれにせよ、学びの上塗りをする時間が確保されているかが問題となるのです。

さて、志木中での学力向上は、どうなっているのか？ということになりますが、本校では授業改善に取り組み、特に授業を振り返らせ、授業で何がわかり、何がわからなかったのかを明確にすることによって、家庭学習へつなげることや、前時の確認を毎時間行い、単元ごとに各教科で工夫します。これもまた学びの上塗りをねらいとしています。学校・家庭における繰り返し学習が生徒の大きな力になることを期待しているところです。